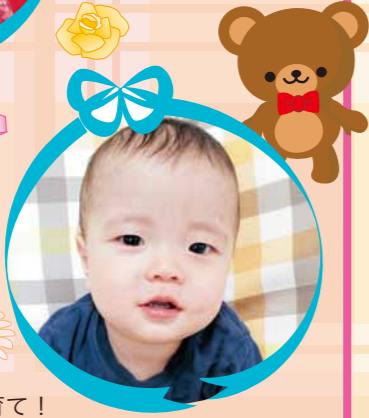


わが家のアイドル



みやぎ ゆうし
宮城 勇志
平成24年7月3日生まれ

母：恵
父：哲也（新川）
元気な男子になぁ〜れ！



すながわ やまと
砂川 大和
平成24年6月6日生まれ

母：ゆうな
父：敬嗣（新川）
1歳の誕生日おめでとう
いっぱい食べて大きく育て！

わが家のアイドルコーナーでは、満3歳までのちびっ子を募集しています。掲載写真はお返します。総務課広報担当までご連絡ください。

☎ 889-4415

南中と徳島県の中学生在交流

徳島県のつるぎ町立半田中学校の3年生30名がこのほど、修学旅行で沖縄を訪れ、4月12日、南風原中で交流会が開かれました。この交流会は、徳島県出身である藤原政勝さん(町観光協会事務局長)の提案により実現しました。交流会では、両校生徒が自校の紹介やそれぞれの地元をPRしたほか、南中学生会主催によるレクで交流を深めました。南中学生会副会長の山城響君は「短い期間ですが、沖縄での旅行を有意義に過ごしてください」とあいさつ。南中の歓迎に対し、半田中の佐藤萌絵美さんは「温かいおもてなしでも楽しかった。今後も両校の交流が続いたら嬉しいです」と笑顔で話していました。



交流を深めた両校の生徒ら

津嘉山小新一年生 交通ルールのお勉強

新一年生に交通ルールを学んでもらおうと、交通安全教室が5月8日、津嘉山自動車学校で実施されました。津嘉山小の新一年生131名や保護者らが参加し、横断歩道の渡り方・信号機の見方などの体験学習や、シートベルトの活用方法、道路で守ってほしい3カ条「①歩道は走らない、道路でふざけない ②ボールが道に出ても、すぐに追いかけない ③車の陰から飛び出さない」などを学びました。与那原署交通課の平良晃課長は「今日勉強したことを忘れず、自分の身は自分で守れるようにしてください」と児童らに呼び掛けました。教室に参加した牧本響君は「(交通ルールについて)楽しく勉強できた。今日習ったことを児童館のみんなに教えたい」と話していました。



保護者と一緒に横断歩道の正しい渡り方を学ぶ児童ら

安全で安心な福祉のまちづくりをめざして 民生委員・児童委員の活動をPR

民生委員・児童委員の活動を多くの地域住民に知ってもらおうと、「民生委員・児童委員の日活動強化週間PR出発式」が5月13日、ちむぐくる館で行われました。町民児連の前川義美会長は「本日の出発式を機に、民生委員・児童委員の3つの基本姿勢『社会奉仕の精神、基本的人権の尊重、政党・政治目的への地位利用の禁止』を再確認し、活動をまい進していきます」とあいさつ。城間町長は「活動を広く知ってもらい、困っている方の声を拾ってください。私たち行政も、皆さまが活動しやすい環境を整えていきます」と激励しました。出発式終了後、各地域に分かれてチラシを配布したほか、広報車によるPR活動を行いました。



出発式に参加した民生委員・児童委員の皆さん

はえばる NEWS

空高く舞え！こいのぼり掲揚式

5月5日のこどもの日を前に、こいのぼり掲揚式(主催・町、町社会福祉協議会)が4月30日、ちむぐくる館駐車場で開かれました。町内の認可外保育園の園児や関係者ら約200人が参加し、園児たち手作りのこいのぼり約150匹を揚げました。城間町長は園児たちに「空を舞うこいのぼりのように、みなさんも大きく元気に育ってください」と声を掛けました。こいのぼり掲揚後のアトラクションでは、たんぼぼ保育園とめだか保育園の園児たちが歌とダンスを元気いっぱいに披露しました。手作りのこいのぼりを揚げ喜ぶ園児ら



観客を魅了 社協チャリティー芸能公演

町社会福祉協議会が実施する地域福祉活動の推進に寄与することを目的としたチャリティー芸能公演(主催・同実行委員会)が4月28日、中央公民館で開催されました。26回目を数える本公演は、今回も多くの入場客で賑わいました。町文化協会郷土芸能部48名による斉唱で幕を開け、町更生保護女性会や女声コーラスウインズなど多くの団体が出演。踊りや歌などの芸能で舞台を彩り、訪れた客を魅了しました。



大城正博民謡研究所「平和の願い」

4.28「屈辱の日」を考える 文化センターで企画展と座談会を開催

文化センターで第64回「南風原文化センター企画展『屈辱の日』展」が4月25日～5月26日の日程で開催されました。6.23「慰霊の日」、4.28「屈辱の日」、5.15「沖縄返還」のつながりから沖縄戦後史を考えることをテーマに、戦後史に関する資料や写真、年表などが展示されたほか、映像「沖縄戦後50年史」(琉球放送制作)も上映されました。また、これに関連し、座談会「私と4.28」が4月28日、同センターで開催されました。オキスタ107の赤嶺ゆかり氏、崎原千尋氏、親川志奈子氏の3人の有識者が登壇し、沖縄の立場から4.28について考えることの重要性や、「ウチナーグチ」を継承していく必要性などについて議論を交わしました。



座談会に登壇した(左から)親川氏、崎原氏、赤嶺氏、文化センター職員の前平次子氏

赤十字社資にご協力をお願いします

5月は赤十字社員募集増強運動月間です。役場町民ホールで5月10日、社資募集出発式が開かれました。南風原町区分は昨年度、目標額3,858,000円に対し、実績は3,565,600円で、達成率92.4%でした。町赤十字奉仕団の島袋幸子委員長は「昨年度は皆さまのおかげで目標の92.4%の社資を集めることができました。今年は達成率100%以上を目標に、団員みんなで頑張ってください」と意気込みを語りました。城間町長は「日ごろの皆さまのご活躍に感謝。私たち町民も一丸となって頑張っていきたいと思います」と激励しました。



決意を新たに社資募集をスタートさせました